



# 動労千葉

83, 4, 18

No. 1318

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二（七）二〇七

# 国鉄再建監理委設置法案の衆院強行弾劾！

## 中江の勝利で反動攻勢をはね返せ

政府・自民党は、「国鉄再建は行革の目玉」として、国鉄再建監理委員会設置法案の今国会成立を狙っています。そして、四月十五日には社会党等の反対をおしきって衆院本会議での通過を強行しました。

その一方で国鉄当局は、政府・自民党による「分割・民営化」攻撃をどう喝材料としながら、年度末手当のカット、年度末ギリギリ（三月三十一日）での二万人あまりの大巾要員削減、入浴問題・「職場規律の厳正」などによる大量処分、さらに国労東京への警察権力の導入など、きわめて強権的な攻撃をかけてきています。国鉄再建監理委設置法案の成立を阻止し、臨調行革攻撃の中軸をなす国鉄労働運動解体攻撃をはねかえそう。

### 強力な権限をもつ

#### 「国鉄再建監理委員会」

国鉄再建監理委員会設置法案は、昨年七月末に出した臨調基本答申をうけて、政府が国会に提出していたものです。

この法案の内容は、次のようなものです。  
第一章で、「臨調答申を尊重する」ことを大前提として、「健全な国鉄経営」を実施するための体制を整備することをうたっています。

第二章で、このために講ずべき施策として効率的な経営形態の確立、長期債務の償還などを規定したうえで、国鉄再建監理委員会の設置をうたっています。

そして、この国鉄再建監理委員会に、そのための諸施策実施にむけての「企画・審議・決定」の権限を付与しているのです。さらに、内閣総理大臣に対しても、「この監理委員会の意見を尊重する義務」を負わせるなど、きわめて強力な権限を持たせています。

このように、われわれ国鉄労働者に対して、「国鉄の分割・民営化」か、それとも「国鉄二〇万人台体制」徹底した合理化、「職場規律の厳正」国鉄労働運動解体」攻撃への協力・屈服かを強権をもってせまってきたのです。

### 完全な反動へと転落した 動労「本部」革マル

このような攻撃に対し、わが動労千葉はこの間、現協廃止や時間内入浴規制をはじめとする一連の攻撃と一つ一つ対決し、国労共闘を追求しつつ反撃の闘いを全力で闘いぬいてきました。

しかし、動労「本部」革マルは、「冬の時代論」「いまは闘うべきではない。働こう」「闘うから権利を奪われる。いま闘うやつは挑発者だ」として、全国で闘いにたち上った戦闘的国鉄労働者の

闘いを圧殺してまわっているのです。動労「本部」革マル反動分子は、いまや完全に反動の側に、国鉄当局の側に移っています。

### 一切の「鍵」は中江必勝にある

わが動労千葉は、いま中江選挙闘争必勝を期して全力で闘いぬいています。

「船橋」において、反動中曾根政権に対する労働者・人民の怒りの声をほり起こし、結集させ、力にかえ、民衆の巨大なエネルギーへと転換させなければなりません。その土壌は、確実にわれわれによって掘りおこされています。中江勝利が一切の「鍵」です。

中江必勝をなにかなんでもかちとり、国鉄再建監理委員会設置法案を粉碎しようではありません

**中江必勝へ！** 連日奮闘する中江候補

反戦・反核・護憲、労働者・住民主体の市議会を、と熱っぽく訴える中江候補への期待が毎日に高まっていく。